

## 1 学力検査結果の概要

表1 総点の得点分布

得点	人数 685人	
	人数	%
100	6	0.9
90～99	110	16.1
80～89	138	20.1
70～79	109	15.9
60～69	99	14.5
50～59	69	10.1
40～49	73	10.7
30～39	34	5.0
20～29	33	4.8
10～19	12	1.8
1～9	2	0.3
0	0	0.0
平均点	67.8	

表2 小問別正答率

大問	小問	正答率
[1]	問1	1 92.4
		2 89.2
	問2	ア 78.4
		イ 94.9
		ウ 72.0
		エ 70.8
	問3	1 60.3
		2 84.0
		3 81.9
		4 80.3
小計		80.5
[2]		82.8
		92.4
		92.4
		71.4
		62.6
		88.2
		30.1
小計		74.3

大問	小問	正答率	
[3]	問1	(1) 90.7	
		(2) 89.9	
		(3) 88.3	
		(4) 66.9	
	問2		67.2
			53.6
			30.2
		ア 51.2	
	イ 74.3		
小計		66.7	
[4]	問1	(1) 78.4	
		(2) 81.2	
		(3) 55.3	
	問2		49.6
			38.0
	問3		35.5
	小計		57.1
小計		54.4	
[5]	問1		79.4
			84.1
			78.1
	問2	(1) 67.0	
		(2) 72.7	
		(3) 59.9	
	問3		56.4
	問4		56.0
問5		64.2	
問6		61.8	
小計		66.0	

## 2 分析結果の概要

平均点は67.8であり、近年では最も高い平均点となっている。平均点及び得点分布の状況からみて、受検者にとって取り組みやすい問題であったと思われる。

聞く力を問う[1]は、例年と同じく80%の高い正答率である。しかし、基礎的・基本的な力をみる[2]、[3]については、問題数が増えたことや一部が記述式になったこともあり、正答率が昨年よりも若干下がっている。また、書く力を問う[4]、読む力を問う[5]については、昨年よりも高い正答率となっている。

大問別の正答率の経年比較は、次のとおりである。

大問	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度
[1] リスニング	73.2	78.1	79.4	78.3	80.5
[2] 対話文読解	70.3	65.8	83.7	81.9	74.3
[3] 対話文、文法・理解	66.2	71.8	66.7	75.1	66.7
[4] 表現力	47.4	31.9	30.5	34.9	54.4
[5] 長文読解	58.5	48.5	50.9	56.8	66.0
全体	60.5	57.2	60.2	64.5	67.8

### 3 小問ごとの内容，ねらい

大問	小 問	領域	小問の内容，ねらい	設問方法	備考
1	問 1	1	聞くこと	提示された絵を見ながら，英文を聞き，その説明に相当する絵を選択することができる。	符号選択
		2			
	問 2	ア	聞くこと	英語による説明を聞き，必要な情報を聞き取り，与えられた表の空欄に適語や数字を書き込むことができる。	記述 (日本語)
		イ			
		ウ			
	問 3	1	聞くこと	比較的長い対話とその内容に関する質問を聞き，その質問に対する適切な応答を選択することができる。	符号選択
		2			
		3			
		4			
2	問 1		読むこと・話すこと	生徒と留学生との対話文を読み，対話の展開を読み取り，空所に入るべき英文を選択することができる。	符号選択
3	問 1	(1)	読むこと・話すこと	短い対話文を読み，場面を理解し，その場にふさわしい適切な応答を選択することができる。	符号選択
		(2)			
		(3)			
		(4)			
	問 2		読むこと	170 語程度の平易な英文を読み，物語の概要を読み取り，英文中の空欄に適する語を選択し，適切な形に語形変化させ記入することができる。	記述 (英語)
		ア			
	イ	読むこと	物語の展開を把握し，空欄に入る語を推察し，記入することができる。		
4	問 1	(1)	書くこと	与えられた語を並べかえ，場面にふさわしい英文を作ることができる。	記述 (英語)
		(2)			
		(3)			
問 2		書くこと	提示された条件を基に，習得した語彙や構文等を使い，初歩的な英語で表現することができる。	記述 (英語)	
問 3		書くこと	有名な人物について，習得した語いや構文等を使い，その人物を紹介する英文を作ることができる。	記述 (英語)	
5	問 1		読むこと	約 450 語の英文を読み，概要を把握し，空欄に入るべき英文を選択することができる。	符号選択
	問 2	(1)		本文の内容に関する英語による質問に対する答えとして適切なものを選択できる。	符号選択
		(2)			
		(3)			
	問 3			本文の展開から，指示語の具体的内容を日本語で答えることができる。	記述 (日本語)
	問 4			本文の展開から，指示語の具体的内容を日本語で答えることができる。	記述 (日本語)
問 5		本文のまとめとなる英文を選択することができる。	符号選択		
問 6		本文の内容に一致する英文を選択することができる。	符号選択		

基礎的・基本的事項の設問には，備考欄に 印を付してある。

#### 4 標準解答及び考察

1

標準解答

問1	1	ウ	2	ア															
問2	ア	アメリカ合衆国	イ	中国	ウ	9人	エ	4人											
問3	1	イ	2	ウ	3	ウ	4	エ											

考察

聞く力をみるリスニング問題であり、昨年と同じく、3種類の設問形式である。問1は、絵を見ながら英語による説明を聞き、その英文が示す内容を聞き取る基本的な問題であり、共に約90%の正答率である。問2は、行ってみたい国の調査結果についての英語による説明を聞き、提示された表の空欄を埋める問題であるが、イ以外は70%台の低い正答率である。男女による対話を聞き、その内容についての質問に答える問3では、1の正答率が低い。複数の情報から必要なものを聞き取る問題で正答率が低くなる傾向がうかがえる。

そこで指導に当たっては、英語の音声に継続的、段階的に触れさせることはもちろんであるが、「聞き取り 確認」という手順だけでなく、事前に聞き取りのポイントを示し、「聞き取りのポイント提示 聞き取り 確認」という手順を取り入れる等の指導の工夫が必要である。

2

標準解答

	エ	ク	カ	イ	ア	ケ	キ
--	---	---	---	---	---	---	---

考察

比較的長い対話文を読み、対話の展開を把握して、空所に入る適切な英文を選択する問題である。今年度は、設問数(空所)7、選択肢数9であった。「質問 応答」のパターンである、の正答率は約90%と高くなっている。しかし、対話の展開をヒントにして答えを導き出さねばならない、については、正答率が低い。特に、提案をする際に用いられる“Why don't you ---?”の表現については、定着が不十分であると考えられる。

そこで指導に当たっては、短い「質問 応答」の対話文だけでなく、ある程度まとまった長さの対話文を読ませ、話題や対話の展開を理解させた上で、音読指導を徹底しながら習熟を図ることが大切である。また、代名詞の働きや、英文中で具体的に何を指すのかに注目させ、必要な場面で適切に使用できるよう定着を図っていく必要がある。

3

標準解答

問1	(1)	エ	(2)	エ	(3)	イ	(4)	ア
問2	called			began			saying	
	surprised			ア	kind / good / nice		イ	many

考察

問1は、短い対話文を読み、状況を把握し、適切な表現を選択する基礎的・基本的問題である。場面の読み取りがやや難しい(4)を除いて、約90%の正答率である。問2は、170語程度の英文を読み、物語の展開を読み取り、空欄に適語を補う問題である。適語を選択させ、かつ語形変化も問うているため、正答率が低くなっている。基本的な文法事項(受動態、過去形、動名詞等)を問う問題であるが、特に、「finish --ing」の理解と定着が不十分である。

そこで指導に当たっては、慣用表現や重要表現については、使用場面を押さえた上で、暗唱するほどまでに繰り返し指導し、定着を図る必要がある。また、不定詞や動名詞、分詞の用法等については、基本的なものに絞りながらも、機会を捉えて言語活動の中で活用させながら、習熟を図ることが大切である。

4

## 標準解答

問 1	(1)	(例) Can I help you?
	(2)	( " ) Have you ever been to Tokyo?
	(3)	( " ) I am good at playing tennis.
問 2		(例) I had a very good time.
		( " ) I want you to visit Japan.
		( " ) I will send you a book about Japan.
問 3	I'd like to talk about 【(A) Mother Teresa B Nakata Hidetoshi C The Beatles】	
	(例)	She helped many poor people in India.
	( " )	She taught the alphabet to children there.

## 考察

与えられた条件を基に、状況に応じて既習の言語材料（語い、文法等）を用いて英文を作る力を問う問題である。答えやすいように語を与え、かつ使用頻度の高い英文が出題されたため正答率は約 55% と上がったものの、例年通り、全ての大問の中で最も低い正答率である。全く英文の体を成さないものも多く見られるなど、伝えるべき内容、伝えたい事柄を、初歩的な英語を用いて正確に伝える力が十分に育っているとは言えない状況である。

そこで指導に当たっては、ワークシートを作成し、学習した言語材料をペア・ワーク等で実際に使う場を設定し、確実な定着を図ることが大切である。さらに、自己紹介、友人紹介、1 分間スピーチや Show & Tell の時間を設け、既習の言語材料を用いて、ある程度まとまった英文を自分で作る機会を与える等の工夫も必要である。

5

## 標準解答

問 1		ウ		ア		イ	問 2	(1)	エ	(2)	イ	(3)	ウ
問 3	(通りで、補助犬に)近づいて話しかけること。 ; (補助犬に)食べ物を与えること。												
問 4	新しい法律のおかげで、補助犬が飼い主といっしょにレストランや店などに入ることができること。												
問 5		イ	問 6		ア	;	エ						

## 考察

約 450 語の英文を読み、話の概要を把握し、中心となる内容を読み取る長文読解問題である。難解な文型等は使われておらず、読みやすい英文であるが、制約された時間で最後まで読み進む速読の力が必要である。内容を読み取り、指示語の具体的内容を日本語で表現する問 3、問 4 の正答率が低い。

そこで指導に当たっては、基礎的・基本的な語、連語、文法等の確実な定着を図るとともに、生徒の実態に合わせて段階を追いながら、まとまった量の英文を提示していくことが必要である（リーディング・ワークシートの利用）。その際、あらかじめ読解のための時間を設定して取り組ませることで、読むスピードを育成していくことも大切である。

## 5 英語リスニングテスト 読み上げ原稿

[ 4点チャイム ]

これから、英語の学力検査を行います。まず、解答用紙に、出身中学校、受検番号及び氏名を書きなさい。書き終えたら、問題用紙のページ数を調べて、異常があれば黙って手を挙げなさい。

[ 1点チャイム ]

最初の問題は、放送によるリスニングテストです。問題用紙の1ページを開きなさい。

では、問1の問題を始めます。問1は、英語による説明を聞いて、それぞれの内容に当てはまる絵を選ぶ問題です。説明に最も当てはまる絵を、ア、イ、ウ、エの中から1つ選び、符号で答えなさい。英語による説明は2回繰り返します。

1番

This looks like a box. You sit in front of this and watch many kinds of interesting programs.

繰り返します。 . . . . .

2番

When you are sick, you will go to see this person. This person will take care of you. This person usually works at a hospital.

繰り返します。 . . . . .

問1は、これで終わりました。

[ 1点チャイム ]

問2に移ります。問2は、英語の説明を聞いて、表を完成する問題です。説明の内容と合うように、(ア)、(イ)には国の名前を、(ウ)、(エ)には数字を書き入れなさい。英語の説明は2回繰り返します。

In English class, I asked the students about the countries they want to visit. Each student chose one country. There are just forty students in the class. The United States is the most popular country among the students. Twelve students want to visit it. Korea is more popular than Australia and China. Nine students want to go to Korea. The same number of students want to visit Australia and China. Four students would like to visit the United Kingdom. And three students chose three other countries.

繰り返します。 . . . . .

問2は、これで終わりました。

[ 1点チャイム ]

問3に移ります。問3は、1番から4番までのそれぞれの対話を聞いて、その内容についての質問に答える問題です。質問に対する答えとして最も適当なものを、ア、イ、ウ、エの中から1つ選び、符号で答えなさい。対話と質問は、それぞれ2回繰り返します。

1 番

M : Shall we go to the movies next Sunday?

F : That's a good idea.

M : How about meeting at the station at 10?

F : That'll be fine with me.

M : Well, see you then.

F : OK.

Question : Where will they meet next Sunday?

繰り返します。 . . . . .

2 番

F : What are you doing, Ken?

M : I'm looking for a book for my mother's birthday present. Tomorrow is her birthday.

F : Oh, I see. What kind of book are you going to buy?

M : My mother likes cooking. So I'll give her a book about cooking. But I don't know which is good for her.

F : Well, how about this one?

M : Oh, I think it's good. OK, I'll take it.

Question : What is Ken going to buy for his mother?

繰り返します。 . . . . .

3 番

F : Hi, Tom.

M : Hi, Sayuri. Where are you going?

F : I'm going to Kagoshima to see my uncle. How about you?

M : I'm going to Oita to see my friend. I have not seen him for a long time.

F : Oh, he will be happy to see you. Have a nice trip.

M : Thanks.

Question : Who is the person Tom is going to see?

繰り返します。 . . . . .

4 番

F : This is Mary speaking. May I speak to Ken?

M : Speaking.

F : Hi, Ken. I will go fishing with my father tomorrow.  
Will you go with us?

M : I would like to, but I have to stay home. My mother has been sick for a week.

F : I'm sorry to hear that. Let's go together next time.

M : Yes, I hope I can.

Question : Why can't Ken go fishing with Mary?

繰り返します。 . . . . .

[ 1点チャイム ]

これで、リスニングテストを終わります。引き続き、2ページ以降の問題に進みなさい。